

## 令和 6 年笛吹市議会第 4 回定例会

令和 6 年笛吹市議会第 4 回定例会の開会に当たり、提出した案件につきまして、その概要を御説明申し上げますとともに、前回定例会以降の行政運営の状況について申し述べ、議員各位並びに市民の皆様に御理解を賜りたいと存じます。

はじめに、笛吹市市制施行 20 周年記念式典についてです。

10 月 12 日、笛吹市スコレーセンターにおいて「笛吹市市制施行 20 周年記念式典」を開催しました。

式典では、山梨県副知事、国会議員、県議会議員、近隣自治体の首長を始め来賓の皆様や、市政功労者、公職退任者など約 300 人が出席される中、市の発展のために御尽力いただいた方々の功績と貢献に深い敬意と感謝を表し、表彰状や感謝状を贈呈いたしました。

また、共に市民栄誉賞を受賞いただいている、直木三十五賞受賞作家の辻村深月様、東京 2020 オリンピックレスリング男子フリースタイル金メダリストの乙黒拓斗様からのお祝いメッセージの披露や、笛吹高等学校すいれき太鼓部の勇壮な和太鼓演奏などが行われ、20 周年の節目を彩る活力に満ちた式典となりました。

式典を通して、先人の皆様が守り、築き上げてきた本市の歴史や文化、自然環境、産業などを改めて振り返るとともに、これからが本市の「飛躍のとき」であると、決意を新たにしたいところです。

次に、第 45 回川中島合戦戦国絵巻についてです。

11 月 4 日、笛吹市市制施行 20 周年を記念し、「第 45 回川中島合戦戦国絵巻」を開催しました。

今年は、武田信玄公役に俳優の小堺一機さん、上杉謙信公役にはタレントの関根勤さんを迎え、お二人の息の合った掛け合いに、会場に詰め掛けた 2 万 5,000 人の観覧者からは笑顔が溢れました。

また、小堺さん出演のテレビ番組を模して、サイコロにより戦法を決めたり、運動会でおなじみの大王転がしや玉入れを戦国風にアレンジして戦ったりと、斬新な合戦模様に会場は大いに沸き、歓声に包まれました。

次に、FUJIYAMA ツインテラス、リリーベルヒュッテの来訪状況についてです。

すずらん群生地駐車場と FUJIYAMA ツインテラスを結ぶシャトルバスは、運行を開始した 4 月 25 日から 11 月 30 日までの間に、約 2 万人が利用しています。

また、エントランス施設「リリーベルヒュッテ」には、FUJIYAMA ツインテラスからの富士山の眺望を目指し来訪された観光客だけでなく、新道峠周辺の山々で登山やトレッキングを楽しむ方たちが大勢立ち寄り、カフェで本市のソウルフード「ラーほー」を楽しんだり、観光案内所で市内周遊の旅程を相談したりと、4 月 25 日のオープン以降、約 2 万 4,000 人の方が訪れ、大きな賑わいを見せています。

今シーズンのシャトルバスの運行とリリーベルヒュッテの営業は 11 月 30 日までで終了しました。冬季期間は休業となりますが、来春以降も多くの方が FUJIYAMA ツインテラスを訪れ、本市の魅力を知る契機とするとともに、FUJIYAMA ツインテラスを拠点として石和・春日居温泉郷を始め市内各所への誘客を広げていくため、取組を進めていきます。

次に、ラーホーの日記念日キャンペーンについてです。

ラーメンの日である 7 月 11 日と、ほうとうの日である 4 月 10 日を合わせ、昨年から、11 月 21 日を「ラーホー」の日としています。

ラーホーの日を記念し、本年は、11 月 1 日から 30 日まで、一杯 500 円で食べられるキャンペーンを 16 の協力店舗で実施し、それぞれの店舗でバリエーション豊かにアレンジされた一杯が提供されました。また、株式会社セブンイレブン・ジャパンでは、期間限定で県内全てのセブンイレブンで「ラーホー」を販売し、大変な反響をいただきました。

今後も市内外の多くの方々に本市のソウルフード「ラーホー」を味わい、親しんでいただきたいと思えます。

次に、ワインイベント「フエフキ ワイン パーク ラウンジ」についてです。

11 月 30 日、12 月 1 日の 2 日間、笛吹みんなの広場において、初冬の笛吹市を楽しむアウトドアワインイベント「Fuefuki Wine park Lounge(フエフキ ワイン パーク ラウンジ)」を開催しました。

市内ワイナリー 11 社と地元の飲食店などが集い、多くの皆さまにワインと料理のペアリングを味わっていただき、本市のワインの奥深さとその魅力を再発見していただく機会となりました。

引き続き、本市産ワインの知名度の向上と、消費の拡大に向け、取組を進めていきます。

次に、石和温泉郷イルミネーションについてです。

11 月 30 日から来年 1 月 31 日まで、さくら温泉通り及び石和温泉駅から石和駅前通りにかけて、本市の冬を代表するイベントである石和温泉郷のイルミネーションを実施しています。

さくら温泉通りは、往復約 3 キロメートル、173 本の桜に 55 万球の LED が灯り、近津川の水面には光り輝くイルミネーションが反射する、幻想的な光の並木道となっています。

本年は、市制施行 20 周年を記念して、さくら温泉通りのウッドデッキにローマ字で「FUEFUKI」と記したモニュメントを設置し、イルミネーションと相まって絶好のフォトスポットとなっています。

また、期間中は、毎週土曜日に石和源泉足湯ひろばやウッドデッキスペースにキッチンカーなどが出店し、寒さ厳しい季節でも、ほっと心が温まる癒しの空間として、石和温泉郷を演出しています。

次に、自衛隊による笛吹みんなの広場災害時活用検証訓練についてです。

笛吹みんなの広場は、設計段階から、地震災害発生時に自衛隊による災害派遣の活動拠点となるよう計画し、整備しました。

災害に際し、迅速に自衛隊の派遣部隊を受け入れ、救助活動が展開されるよう、災害時に派遣される陸上自衛隊東部方面特科連隊に訓練実施を依頼し、11月16日、笛吹みんなの広場において活用検証訓練を実施しました。

会場では、同連隊の第1大隊第3中隊長の指揮のもと、電気設備や上下水道、マンホールトイレ、井戸水など、拠点運営に必要となる広場の設備等の確認や活用方策の考察、重量のある大型車両を配置する際に路面や地中の配管に支障を来たさない搬入導線の精査、広場を拠点とした市内の無線通信範囲の確認、効果的な配備レイアウトの検討等、自衛隊員と市職員が連携し、円滑に拠点を設営するための検証を行いました。

あわせて、炊き出し訓練や派遣車両、装備品の展示、災害派遣部隊による被災地活動のパネル展示も行われ、多くの見学者が来場しました。

今回の実証結果をもとに、改めて市や自衛隊で実効性のある拠点設営に向けた検証を進めます。

次に、指定避難所備蓄倉庫整備についてです。

令和3年度から6年度にかけて、市内28か所の指定避難所に53棟の防災備蓄倉庫を設置し、避難所開設初期に必要な防災物品の整備が完了しました。

これにより、市内すべての指定避難所が災害発生時に迅速に開設し、避難者を受け入れることができるようになりました。

引き続き、市民の命を守るまちづくりに向け、防災、減災、強靱化に向けた取組を強化してまいります。

次に、フードドライブ及び子ども家庭支援事業についてです。

10月16日から11月15日までの1か月間、市民の皆様から職場や御家庭で眠っている食料品を持ち寄っていただき、食を必要とする方々にお届けする取組「フードドライブ」を実施し、期間中は、多くの食料品が寄せられました。これらの食料品は、今後、認定NPO法人フードバンク山梨を通じて、県内の支援が必要な御家庭へ提供されることとなっています。

また、12月3日には、本市独自の取組である「子ども家庭支援事業」により、学校給食が提供されない冬休みの期間においても子どもの食事が安定して確保されるよう、フードバンク山梨と連携し、小中学生がいる生活支援が必要な子育て世帯約200世帯に対し、米やレトルト食品、缶詰等を配送し、夏に続き今年度2回目の食糧支援を行います。

今後も、生活困窮で支援を必要とする子育て世帯等に対し、食料支援の取組を行ってまいります。

次に、笛吹市戦没者合同慰霊祭についてです。

11月27日、笛吹市スコレーセンターにおいて、先の大戦における本市出身の戦没者及び戦争犠牲者2,045人の尊い犠牲に哀悼の意を表するとともに、恒久平和を祈念するため「令

和6年度笛吹市戦没者合同慰霊祭」を開催しました。

当日は、御遺族の皆様や、峡東保健福祉事務所長、県遺族会理事長、県議会議員、市議会議員を始め来賓の皆様、市議会議員各位に御参列いただき、厳かな雰囲気の中、参列者全員が一人ひとり祭壇に献花を行いました。

また、今年度から市立中学校の生徒にも参列いただくこととし、一宮中学校の生徒の代表が平和宣言を行いました。

次の世代を担う子供たちに戦争の悲惨さや平和の尊さを伝え、受け継いでいく機会となるよう、今後も取組を継続していきます。

次に、第28回「俳句の里」山梨県笛吹市全国小学生・中学生俳句会についてです。

今年の俳句会には、全国45都道府県の小中学校から応募があり、516校から3万6,211句のみずみずしい作品が寄せられました。

12月21日には、いちのみや桃の里ふれあい文化館において表彰式を開催し、文部科学大臣賞をはじめ、蛇笏・龍太特別賞などの感性豊かな入賞作品を発表します。

令和6年12月2日

笛吹市長 山下 政樹